

飛翔

第56号



社会福祉法人 鹿児島県社会福祉事業団

Kagoshima Social Welfare Service Corporation

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号 鹿児島県社会福祉センター 4階

TEL 099-257-7667 FAX 099-259-3939

E-mail j-office@kagoshima-swc.jp URL www.kagoshima-swc.jp



七草の様子(仁風学園)



かるた取り(仁風学園)



利用者と職員の共同作品(ゆすの里)

CONTENTS

- ・特集／公益的な取り組み
ゆすの里無料開放講座…………… 2
- ・ねっとわーく～施設の窓から～…………… 4
- ・理事会・評議員会・研修会…………… 9

新年を迎えて

理事長 森 秀樹

明けましておめでとうございます。

新春を迎え、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げますとともに、日頃から当事業団にお寄せいただいておりますご支援、ご協力に対し、心から感謝申し上げます。

ご承知のように、本年は5月1日に新天皇陛下が御即位される予定で、30年間続いた平成の時代から新しい元号の時代が始まることとなります。

国では、現在、地域社会のあり方について、社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会、すなわち「地域共生社会」を目指していますが、新しい時代にその実現が着実に図られていくことを期待しますとともに、当事業団も社会福祉法人として福祉・介護の分野でその責務・役割を果たし、貢献していきたいと考えています。

さて、当事業団におきましては、現在、平成31年度から3年間を計画期間とする新たな「鹿児島県社会福祉事業団次期経営計画」の策定に向けて、多くの職員の参画も得ながら、検討を行っているところです。社会経済情勢の著しい変化や少子高齢化・人口減少が進行する中、将来の当事業団を取り巻く状況や環境を的確に予測する

ことは難しい面もありますが、当事業団としての10年後のあるべき姿を見据えつつ、その実現に向けて着実に推進すべく、今後3年間の重要な目標や具体的な取組の方向など新しい羅針盤を示すことにしています。

また、施設整備に関しては、現在、障害者支援施設「川内自興園」の敷地内にある障害児の放課後等デイサービス事業を行う「チャイルドクラブあおぞら」の全面改築を行っています。県や地元市町村のご支援やご協力もいただきながら、本年3月に完成する予定です。これまで以上に、障害のある子どもや保護者の方々にとって、快適で安心・安全な環境と質の高いサービスを提供し、地域における障害児支援の拠点施設となるよう努めていきたいと考えています。

本年も当事業団としては、全国的な福祉・介護分野の人材不足など先行きが流動的で厳しい状況の中ではありますが、自律的かつ自主的な経営を図りながら、これまでと同様、利用者の方々により安全・安心で質の高いサービスを提供するとともに、地域の皆様の福祉サービスのニーズに応えることができるよう、その責務を果たしてまいりたいと考えておりますので、関係者の皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、本年が皆様にとりまして素晴らしい一年となりますようにお祈り申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。

特集 障害者支援施設 ゆすの里 地域に開かれた施設をめざして ～ 公益的な取組として無料開放講座を実施しています!～

社会福祉法人は、福祉サービスの中心的な担い手としての存在意義を発揮して社会福祉の向上に寄与し、社会的な使命を果たしていくことがますます期待されています。「ゆすの里」においても、地域福祉の向上に貢献するとともに、地域に愛され、地域に開かれた施設を目指し、各専門職員が生活に役立つような知識を取り入れながら3年前より無料開放講座を実施しています。

無料開放講座とは…?

- 平成27年5月から月1回、土曜日の午後で開催されています。
- 地域住民のニーズに合わせたテーマで、当施設の専門職(理学療法士、作業療法士、看護師、管理栄養士、心理判定員等)による講座を開催しています。
- 開催場所はゆすの里や地域公民館等で行っています。
- ゆすの里周辺の地域住民の方々にたくさんご参加いただいております。平成30年度は延べ114名の方々が参加されました!
- チラシは講座日の3週間前までに日置市伊集院町内(ゆすの里周辺)の各自治会に届くように配布します。



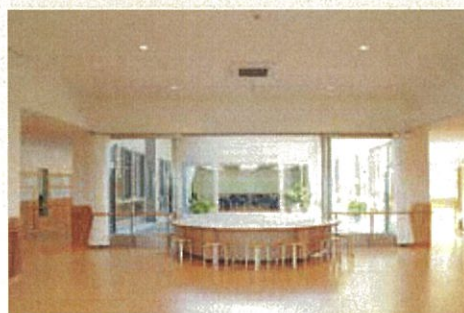
そもそも「ゆすの里」ってどんな所…?

ゆすの里は、昭和51年に県立重度身体障害者更生援護施設として開設され、42年が経過しました。障害者の方々に対して自立と社会参加を促進する観点から、個々ニーズや状況に応じた支援を適切に行い、利用者の方々の立場に立った障害福祉サービスの提供に努めています。平成23年からは当事業団に移譲され、また、平成26年2月に全面改築工事に着工し、平成26年11月に新園舎が完成しています。



サービスの種類

- 生活介護
 - 入浴、排せつ、食事等の介護を行うとともに、創作的活動の機会を提供します。
- 自立訓練(機能訓練)
 - 身体機能の向上・維持を目的とした理学療法、作業療法など必要に応じたリハビリテーションを行います。
- 自立訓練(生活訓練)
 - 入所を希望する高次脳機能障害を有する方に対し、日常生活能力や社会生活能力の向上を図り、より積極的に社会参加できるよう支援します。
- 施設入所支援
 - 入浴・排せつ・食事などの介護・生活等に関する相談及び助言その他の必要な日常生活上の支援を行います。
- 短期入所
 - 短期間入所し、入浴・排せつ・食事などの支援を行います。



平成30年度の無料開放講座の取り組み

5月

理学療法士講座

ロコモ予防で健康生活!
～家庭でできるロコモ予防体操～



簡単に出来る体操や運動を
実践しながら紹介



理学療法士による講話

6月

作業療法士講座

手づくり講座「空育」折り紙ヒコーキを
飛ばそう! 世界記録に挑戦!

世界記録は
距離69m
滞空時間29秒



親子で紙ヒコーキを
作ってみました。

7月

言語聴覚士講座

～誤嚥性肺炎について～



30代から80代までの方々が参加されました。



8月

支援員によるパソコン講座(4回講座)

「ワード・エクセルに慣れよう
パワーポイントでフォトアルバムを作ろう」

1～2回目



ワード・エクセル・
パワーポイントに慣れよう

3～4回目



パワーポイントでフォトアルバムを作ろう
動画にしてみよう

9月

管理栄養士講座

栄養とストレスについて
～毎日の食事でストレスに強くなるよう～



ストレスと栄養についての
講座の様子



ストレスチェックなどによる測定(骨密度測定)

10月

臨床発達心理士講座

「こころと身体の発達」
～子ども・おとなの発達障害を考える～



熱心に受講する参加者の様子の様子

11月

看護師講座

「知っておきたい感染症」
あなたの手洗い大丈夫??



手洗いを実践し洗い残しを
手洗いチェックで確認する



看護師による講話

〈参加者からうれしい反応などをいただいております!〉

- また設けてほしいと思いました。
- 講義の内容要点事項をメモしたものが欲しい。
- 大型見本があるととてもわかりやすかったです。
- カラフルなスライムが作ってみたい。
- 親切に教えてもらいありがたかった。
- 日頃の手洗いが不十分であったと気づいた、参考になった。
- マスクの着用や外し方など勉強する機会ができてよかったです。
- 話しがわかりやすかったです。
- 毎月、楽しいテーマ、学ぶことが多いテーマばかりで、とても勉強になります。
- レシピがとても簡単なのに、一品の中にたくさんの栄養素があつて真似してみようと思う。

これからも地域住民の方々のニーズに合わせた
テーマで講座を開催していきます!

お問い合わせ先

住所: 鹿児島県日置市伊集院町妙円寺1丁目1番1号

TEL: 099-273-4175 メールアドレス: yusunosato@kagoshima-swc.jp

お気軽に
ご連絡ください。

ねっとわーく ~施設の窓から~

児童養護施設
仁風学園

初めての県外旅行 in 熊本

子ども達にとって楽しみの夏休み。昨年までは県内で中高生キャンプを行っていましたが、今年は初めて県外への旅行を実施し、8月10日～11日にかけて1泊2日で熊本県に出掛けました。高速バスとJR、市電を乗り継いでの移動となりました。

道中、反対方向への乗り間違いや改札で切符の受け取り忘れ等ハプニングが多数あり、移動だけで片道7時間程掛かってしまいました。始めはウキウキしていた子ども達もクタクタで不平不満が続出です。やっとの思いでグリーンランドに着いたのが午後3時でした。短い時間しか遊ばせませんでしたが、みんな同じアトラクションに何度も乗ったり、お化け屋敷で怖さのあまり足をくじいて引き返したりと、職員も子ども達もみんな遊園地を満喫することができました。遊園地を出てその後、バスに間に合わずにホテルまでの4キロの道のりを徒歩で移動。子ども達からの愚痴を受け流しつつ、2時間程かけてなんとかホテルにたどり着きました。実は私はここが一番の思い出だったりします。予定通りにいかない状況も旅行の醍醐味です。くたびれた私はホテルですぐに横になってしまいました。疲れ知らずの子ども達は遅くまでワイワイ楽しんでいました。寝る時間が遅くなりすぎないように、最低限の声かけをして、その日だけは見守ることにしました。



県外旅行は初めての試みで不安もありましたが、みんな怪我も無く無事に帰って来ることができました。公共交通機関の乗り継ぎは大変でしたが、子ども達にとって良い経験となったことでしょう。「来年は絶対に新幹線がいい。」と、子ども達から話がありました。また来年も公共交通機関の乗り継ぎで計画したいと思います。

児童指導員 中野 宏之

児童養護施設
若葉学園

地域の伝統的な行事に参加して



帖佐八幡神社浜下りは弘安5年(1282年)、帖佐の領主となった平山了清が京都から一族家来873人を伴い、帖佐にたどり着いた苦勞を偲ぶ行事です。毎年約100人が武者行列などに参加する中、若葉学園からは、5名の児童と少年団に所属している児童6名、計11名の児童が参加しました。

稲荷神社へ集合し、ほこもちや武者、お供衆等、それぞれの衣装を身にまとい、普段着ることのない袴や雪駄、また甲冑や刀を身につけ、子ども達は嬉しそうな表情に変化していきました。着替えが終わると、出発式が行われ、緊張した面持ちで、いざ出陣です。

第19回帖佐八幡神社浜下りは、稲荷神社から、2回の休憩を挟み、御門神社への5キロの距離を歩きます。元気よく出発し、まずは第一休憩所のイオンタウン始良を目指します。道中、地域の方々の応援や、声援が聞こえ、笑顔で恥ずかしそうに歩きます。目的地に到着すると、写真撮影会が始まりました。イオンタウン始良のお客様から「写真撮ってもらっていいですか」と話しかけられ、特に、武者が人気でした。最後は、記念撮影をし、次の目的地へ出発します。半分を過ぎたところから、慣れない雪駄を履いていることもあり、足が痛くなる子ども、疲れてきた子ども、それぞれが目的地を目指して頑張っていました。各休憩所ではお菓子や飲み物等、地域の皆様が準備してくださり、最後まで頑張れたのは、地域の皆様の協力や声援があったからこそ、無事に行事を終えることができました。この長い歴史を有する地域の伝統行事をこれからも存続していく必要があると感じました。子ども達もとても楽しく参加出来たと思います。

児童指導員 別府 俊一

養護老人ホーム
慈眼寺寿光園

コスモス鑑賞で秋を満喫

去る10月7日、8日に利用者の方々をお連れして慈眼寺公園までコスモス鑑賞に出掛けました。曇り空でしたが、秋の穏やかな気候で、出掛けた利用者の方々も過ごしやすい様子でした。

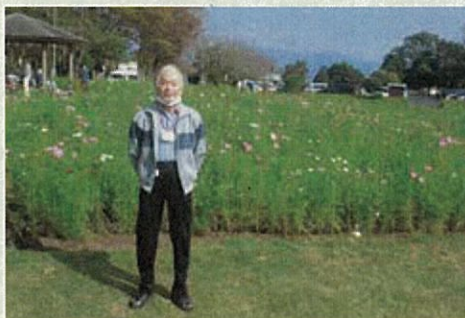
当園には、利用者の方々がまとめて乗車できる車両がないために、今回は「リハステーションゆす」から福祉車両をお借りして

出掛けることとなりました。車いす利用の方々も初めて乗車するリフト車両に驚いた様子で緊張もあったかもしれません。車が動き出すと、それぞれ笑顔もみられ、コスモス鑑賞への期待が膨らんでいるようでした。

到着すると、屋根付きの休憩所へご案内してコスモス畑を見ながら、まずは持参したお茶とお菓子で一服。施設内で飲んだり食べたりするお茶やお菓子とは、一味違ってきます。外の解放感も手伝い、とても満足のいくひとときだったようです。肝心なコスモスの咲き具合はというと残念ながら4～5分咲きでまばらな咲き具合でしたが、杖歩行や車いす移動の方も職員と一緒にゆっくり園内を散策されて、コスモス鑑賞を楽しみました。日程が土曜・日曜だったこともあり家族連れで賑わっており、小さなお子さんやペットもいる中で参加された利用者の方の表情も穏やかで楽しんでおられる様子でした。

普段、なかなか外出する機会もありますが、限られた機会の中で、利用者の方々が楽しみを持ち季節を感じる行事はとても大切だと思います。「来年はもっとコスモスが咲いているといいね。」と、笑顔いっぱいの充実した二日間となりました。

支援員 松元 久



保育所
同胞保育園

親子クッキング餃子作りに挑戦

4歳児のこすもす組は現在34名在籍しています。保育活動をする中で、子どもたちは日々、昆虫探索、ぬり絵、絵本、ブロック遊び等元気いっぱい過ごしています。

当保育園では、保育に保護者の方々も関わってもらう週間を設けています。今回は親子クッキングを計画しました。事前に参加の案内をしたところ、

平日にも関わらず27名の保護者の方々に参加していただきました。子ども達にとっては初めての餃子作りです。どんな餃子ができるのかドキドキしながら餃子作りが始まりました。野菜刻みから、次に餃子の具材を丸め、餃子の皮に包む等の工程がありました。野菜刻みでは、包丁を手に緊張しながらも保護者の方々と一緒になって慣れない手つきでゆっくり丁寧に野菜を刻んでいました。野菜を細かく刻み終わると次は刻んだ具材を丸めます。子ども達は、粘土で遊ぶように慣れた手つきで「ねえ、上手でしょ。」とお母さんへ



自慢げに話をしていました。そして、次は具材を餃子の皮に包むという大事な作業です。子ども達は、初めての経験でもあり「難しいよ。」と悪戦苦闘する姿も見られました。しかし、保護者の方々と一緒になって餃子の皮包みをするとうれしく「やった。餃子が出来た。」と大喜びでした。こんがり焼き上がった餃子はいつも食べている餃子とは違い、親子揃って「美味しいね。」と言いながら餃子をパクパクと美味しそうに食べました。たくさん作った餃子もあっという間に食べ終わりました。餃子を食べ終わると「餃子作り楽しかった。また、お家で作りたい。」と料理作りに意欲を見せる子ども達の姿が見られました。今回の親子クッキングを通して料理の難しさや楽しさの両方が経験出来た貴重な一日でした。

保育士 鶴田 健作



保育所
鹿兒島みなみ保育園

保育園は毎日元気いっぱい!

保育園に主事として勤務するようになり一年半が経ちました。保育園の毎日、それはそれは賑やかで慌ただしく、時間があっという間に過ぎていきます。

事務所には毎日いろいろな「音」が聞こえてきます。登園時間の挨拶に、急いでいらっしゃる保護者の方々の声。活動に伴う元気な足音や歌声。小さいクラスからは大きな泣き声。調理室からは手際よく作業を進める軽快な音。時には保育士の元気のある声。夕方にはお迎えを喜ぶ甘えた声。園内には生



命力にあふれたたくさんの「音」が、一日中響き渡っています。

園児にとって保育園で過ごす数年間は、身体の成長とともに、人として生きていくための基本を学ぶ大切な時期です。園児ひとりひとりの個性を尊重しながら日々の活動を工夫し、努力と葛藤を繰り返している保育士たちには頭が下がる思いです。

私自身は園児と直接関わる時間はそう多くはありませんが、園児の成長した姿や変化に触れる度、感動とともに元気やパワーをもらっています。

これから年度末にかけて、園児の進級に向けての意識を高め準備をしていくこととなります。またあっという間に月日が過ぎてしまうと思いますが、事務所からも園児と保護者、職員のサポートができるように、そして少しでも頼られる存在になれるよう努力していきたいと思っています。

主事 瀬ノ口 聡子

母子生活支援施設

ふれあい講座～アロマ講座で癒しの時間～



「とってもいい香りがする。」と、親子の嬉しそうな声が聞こえてきます。

ふれあい講座の一環として、アロマセラピーの資格を持つ法人内の児童養護施設「若葉学園」の職員を講師として招き、アロマ講座を行いました。在寮者はもちろんのこと、地域に暮らしている退寮者にも参加を呼び掛けました。子どもたちと一緒にアロマを楽しめるということもあり、講座へのたくさんの参加がありました。



この日は、アロマ発泡入浴剤を作りました。アロマに初めて触れる子どもたちも多かったですが、親子で好きな香りを選び、「こんなに良い香りがするんだね。お風呂に入るのが楽しみ。」「癒される。」と、親子で楽しみながら入浴剤を作る姿が見られ、自然と親子から笑顔がこぼれていました。

入浴剤を作り終わると、「リラックスタイム」という、親子でハーブティー等を飲みながら、育児に関する悩みや相談をする時間を設けました。日頃、忙しいお母さんたちも、ゆったりとした時間の中で、職員や他のお母さんたちと交流を図り、お互いに育児の悩みを相談している姿も見られました。参加者からは「とても良い経験になりました。」との声も聞かれ、好評でした。

これからも、親子が楽しみながら、そして親子の絆を深めていけるような行事を企画していきたいと思っています。

主事 平原 侑佳

障害者支援施設
川内自興園

ふれあい秋祭り盛大に開催!

11月10日土曜日、川内自興園にて、ふれあい秋祭りが開催されました。今年は、天気にも恵まれ、さわやかな秋晴れの下、地域の皆様や出店頂いたさまざまな福祉施設の方々と共に大いに盛り上げることができました。

目玉となったのは、薩摩川内警察署の協力で実現した「出張交番」です。実際に警察官が装備している盾や警棒などの装備品を展示して下さったり、パトカーの中に乗って運転席を觀たり、白バイにも跨って写真を撮る事が出来たりと利用者の方々だけではなく、来場された子供から大人までスマートフォンを片手に大いに賑わっていました。

今回の秋まつりではキャラクターも多く登場し、オオカミとうさぎとクマに加え、薩摩川内市の国体推進課より鹿児島国体のPRでぐりぶーが登場したり、ヒーローショー出演のヒーロー達が会場を大いに沸かせてくれたりしました。

川内自興園からの出店では今回新たな試みとして「射的」を取り入れてみました。チャイルドクラブあおぞらや地域の子も達達が我先にと景品を狙って引き金を引き、歓声が絶えませんでした。

ステージでは子ども達の太鼓の演奏や保育園児のダンス、バンドやハーモニカ、吹奏楽の演奏まで幅広く、またMBCラジオに出演され、忙しい中出演頂いたシンガーソングライター「SUI」さんの歌は会場の皆さんが聞き入ってしまうほど感動的なものでした。

川内自興園の利用者の方々と職員、地域の皆様が協力して笑顔あふれるふれあい秋まつりとなりました。

支援員 鷲尾 真也



ほくさつ障害者就業・
生活支援センター

初の試み!! 障害者雇用セミナーを開催

今年度より、障害者の法定雇用率がこれまでの2.0%より2.2%に引き上げられるなど、障害者雇用に関する関連制度の大幅な改正が行われました。今回の制度改正を受け、ほくさつ障害者就業・生活支援センターでは、障害者雇用の理解促進を図るため、一般企業を対象とし、第1回目となるセンター主催の企業向け「障害者雇用セミナーin薩摩川内市」を開催しました。初の試みで期待や不安の中、今まで相談があった企業や登録者が在籍している企業約150社を対象に案内文を送付、持参した結果、約20社の参加がありました。



当日は、障害者就業・生活支援センターの事業説明、障害者雇用の関係機関であるハローワークや鹿児島県雇用労政課、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構より、障害者雇用の制度や情勢、障害者雇用を行う際の助成金の話をさせて頂きました。後半は、現在障害者雇用を行っている株式会社大和と医療法人恵愛会に講話をして頂きました。企業全体で障害者雇用に取り組んでいる姿勢や、取り組むことで生じる悩み、そしてそのような時には、障害者の総合相談窓口として、ほくさつ障害者就業・生活支援センターとの連携等について話をさせて頂きました。二社の講話を聞いた中で、どちらからも障害者の方々が活躍できる場を提供したいという強い気持ちを感じました。その強い気持ちが他の企業に伝わり、今後の障害者雇用に繋がる事と思います。

平成31年1月には精神障害者支援のセミナーも計画しています。障害者の方々が地域に進出し、働きたいと思う気持ちを応援していけるように今後も支援していきたいと思っています。

支援員 濱川 翔吾

かごしま青少年海外研修事業に参加して

学びの多い研修に感謝!!

今回鹿児島県が実施する本事業に当事業団から参加させていただきました。ソウルで三泊四日の日程で行われました。私は今回の研修の目的として、日本と韓国の福祉サービスの違いや公共施設で日本語のサービスがどれだけあるかを調べることを目的としました。

研修では、韓国の歴史や観光について講話をしていただくことで日頃ニュースでしか知り得ない内容について理解を深めることができました。他にもホテルの中にカジノやクラブ等が併設されている複合施設の視察や韓国のお菓子会社の方から講話をしていただきました。どのような企業であってもその土地の人々の嗜好調査を行い、完成までにどれだけの時間、経費がかかるのかを事前に把握して動くことは、どの仕事にも通じるものだと感じました。

また、今回の研修では個人研修があり、私は韓国で児童養護や里親についての事業をしている会社を訪問し、会社の方が英語で案内をしてくださりました。この会社では海外にも支部があり、里親や障害者への支援、里子が月に一度は社内にあるクリニックで検診を行える等と、手厚い支援をされている印象を受けました。英語が不得手な私に対しても親切に対応してくださり、もっと事前準備をしておけばさらに理解を深められたと悔いが残りました。

今回の研修は不安が大きかったですが、それ以上に吸収できることも多く、自発的に行動できたことは収穫だと思います。また、利用者が何を必要としているのかを理解した上でサービスを提供していくことは、どの分野でも同じだと学んだので、今の仕事においても利用者に寄り添い、利用者の将来を手助けできるような支援をしていきたいと思っています。

最後に、このような学びの多い研修に参加させていただき、本当にありがとうございました。

若葉学園 福田 菜月



段差の多い歴史的建造物にもバリアフリー



▲歴史的建築物(黄大仙)内の簡易スロープ

▲車いす利用者の生活状況▲

私は鹿児島県が実施する本事業に当事業団から参加し、3泊4日の日程で、香港の現地企業への訪問や現地で働いている方々と交流する機会を得ることができました。

現地の企業訪問では、飲食店経営のSocial Unlimited Ltd.を訪問しました。店舗内に調理設備が整っていないところがあり、セントラルキッチンで仕込んだ食材を店舗で盛り付けて提供していました。従業員は多国籍のため、人材育成に苦慮されているようです。現地の食文化に合うようにメニューを変えることなく、塩分濃度のみ低く調整して提供していることには個人的にとっても驚きました。香港では多国籍の人が働いているため、新しいものや他国のものの受け入れに寛容な風潮があるのかと感じました。

現地企業人との交流会で、香港では日本と比べ高齢者や障がい者、貧困層に対して手厚い保障がされており、さらにもっと保障を充

実させるべきという意見が多いという話を聞きました。研修の移動中もわかりやすくバリアフリースペースの表示がされており、狭い街中にも車いすの方が買い物されていました。また、段差の多い歴史的建造物の敷地内も車いすでも巡れるように、スロープなどの対策がなされていました。

今回の研修で、現地でしか経験・体験できないことや現地の方、県内の様々な業種の方、学生と交流を図ることで、私自身広い視野を持ち、より一層知識を深めなければならないと考えなおすいい機会になりました。今後も、この出会いを大切にしていきたいと思っています。

最後にこのような貴重な経験ができる素晴らしい研修に参加させていただき、ありがとうございました。

ゆすの里 尾曲 真之介

報 告

理事会

平成30年6月7日(第1回)

- 議案第1号 平成29年度事業報告(案)について
- 議案第2号 平成29年度計算関係書類及び財産目録(案)について
- 議案第3号 評議員会の招集並びに目的である事項等について
- 議案第4号 評議員候補者の推薦(案)について

平成30年7月10日(第2回)

- 議案第1号 チャイルドクラブあおぞら改築工事請負契約に係る入札(案)について
- 議案第2号 基本財産の処分(案)について
- 議案第3号 評議員会の招集並びに目的である事項等について

平成30年8月8日(第3回)

- 議案第1号 チャイルドクラブあおぞら改築工事後審査型制限付き一般競争入札における落札者の決定(案)について

- 議案第2号 チャイルドクラブあおぞら改築工事請負契約(案)について

平成30年11月26日(第4回)

- 議案第1号 平成30年度第一次収入支出補正予算(案)について
- 議案第2号 監事候補者の選定について
- 議案第3号 評議員会の招集並びに目的である事項等について

評議員会

平成30年6月26日(第1回)

- 議案第1号 平成29年度計算書類及び財産目録(案)について

平成30年7月19日(第2回)

- 議案第1号 基本財産の処分(案)について

平成30年12月14日(第3回)

- 議案第1号 監事の選任(案)について

平成30年度事業団職員研修

事業団全体研修

平成30年6月19日(第1班)

平成30年7月3日(第2班)

(研修内容)

- 1 理事長訓話
- 2 「誰もが幸せに生きるために」
県人権同和対策課 研修専門員
鎌田豊作 氏
宇都節郎 氏
- 3 「サクソフンの魅力」
レスピエジェリ・サクソフォン アンサンブル
- 4 「精神疾患の理解と、幸せを創造する働き方」
株式会社 ラグーナ出版 代表取締役 川畑善博 氏



・主査研修

平成30年9月7日

(内容)

- 1 理事長訓話
- 2 行動計画の策定について
- 3 財務の視点について
- 4 マンダラチャート演習

・経験者研修

平成30年10月12日(第1班)

平成30年11月9日(第2班)

平成30年12月7日(第3班)

(内容)

- 1 理事長訓話
- 2 施設の事業計画について
- 3 KJ法演習(支援と財務の関わり)



階層別研修

・新任職員オリエンテーション

平成30年4月17日

(内容)

- 1 理事長挨拶
- 2 事業団の服務規律・諸規則について
- 3 各施設の概要説明

・新任職員研修

平成30年6月6日・7日

(内容)

- 1 施設見学
- 平成30年6月8日
(内容)
- 1 理事長訓話
- 2 特別講義「鹿児島県社会福祉事業団の歴史」
事務局 総務企画課長 野口純仁 氏
- 3 新任職員・社会人としての意識に係る演習
- 4 3分間スピーチ



・新任職員フォローアップ研修

平成30年12月6日

(内容)

- 1 理事長訓話
- 2 入職からこれまでの振り返り
- 3 グループ演習

・施設長研修

平成30年8月9日

(内容)

- 1 理事長訓話
- 2 三者満足について
- 3 職員の定着・確保について



・課長等研修

平成30年8月10日

(内容)

- 1 理事長訓話
- 2 三者満足について
- 3 職員の定着・確保について

契約職員研修

平成30年9月14日・10月4日・22日・23日

(内容)

- 1 アイスブレイク演習
- 2 築城大作戦演習

施設別(非常勤職員)研修

平成30年8月31日・11月1日・2日・8日

(内容)

- 1 アイスブレイク演習
- 2 自己肯定感を高めるグループ演習



人権・同和問題研修

平成30年10月30日・11月1日・8日

(内容)

- 「誰もが幸せに生きるために」
県人権同和対策課 研修専門員
鎌田豊作 氏
宇都節郎 氏

専門研修1

平成30年10月9日

(内容)

- 1 次期経営計画推進目標「経営基盤の強化」の作成について
- 2 補正予算について

専門研修2

平成30年10月9日

(内容)

- 1 人事考課制度について



シリーズ 人



若葉学園
出水 美帆

1 自己紹介をお願いします。

4月から女子棟で指導員をしております出水美帆です。社会人としても児童指導員としても一年目で、毎日新しいことの連続です。事業団の採用試験を受けると決めた時から、児童養護施設で働きたいと思っていました。そのため、難しいことも多くありますが、楽しく仕事が出来ています。また、優しく教えてくれる先輩ばかりで、恵まれた環境の中で働けていることに嬉しさを感じています。周りに感謝し、成長していけるように頑張ります。

2 今、行っている仕事内容について教えてください。

小学校1年生から高校3年生までの女子児童の生活をサポートする仕事をしています。学習支援や、一緒に遊んだり話をしたりする等、直接子どもと関わることの出来る業務や、他機関との連携、行事の企画などを行います。今は出来ない仕事が多々ありますが、日々の学びを大切に、出来る事を増やしていきたいです。

3 事業団で働かれて半年が経ちますが、実際に働いてみてどのように感じますか。

子ども達との関わりは想像していた以上に難しく、悩むことが多いです。その半面で、子ども達とその日の出来事や嬉しかった事を楽しそうに話すのを聞いていると、こちらまで幸せな気持ちになり、素敵な仕事に就かせて頂いているなど実感します。子ども達のことを第一に考えられる指導員になりたいです。

4 今、興味のあることは何ですか。

昔、少しだけ習っていたピアノをもう一度勉強し直したいです。ピアノで弾ける曲を増やし、子ども達と音楽を通して楽しむことができたら良いと思います。

5 先輩へのメッセージをお願いします。

事業団で働き始め、先輩方の熱心さに毎日刺激を受けています。また、施設内外での繋がりが深く、そこも事業団の魅力であると感じます。事業団職員の一員と自信を持って言えるよう、責任感を持って仕事に取り組みたいです。これからも、ご指導宜しくお願い致します。

施設の
伝統レシピ

慈眼寺寿光園の伝統レシピ「ミキ」

今回「簡単レシピ」のコーナーはお休みして、慈眼寺寿光園でよく作られている「ミキ」についてご紹介したいと思います。「ミキ」とは、鹿児島県奄美群島や沖縄県などで伝統的に作られており、米とさつまいもと砂糖を入れて発酵させた発酵飲料です。

お正月などのお祝い事の際や滋養飲料として提供されてきました。

慈眼寺寿光園ではヨーグルトを加えたオリジナルレシピになっていて、炭酸飲料で割るとより飲みやすくなります。肌荒れ改善や便秘解消、免疫カアップ、疲労回復などうれしい効果ばかりです。



ミキの作り方

材料

- ・ごはん・・・1.2kg
- ・水……………1.2リットル
- ・いも汁……300cc
- ・砂糖…………150g
- ・ヨーグルト…450g×2パック

作り方

- ① ごはんと水を入れて沸騰させる。
- ② 75℃まで冷めたらいも汁を入れる。
- ③ 45℃まで冷めたらヨーグルトを入れる。
- ④ 45℃で一晩保温する。

おめでとう

表彰

社会福祉功労者厚生労働大臣表彰

- 加藤 里美 (川内自興園)
- 前土佐 はるみ (川内自興園)
- 堂ノ脇 直美 (川内自興園)

鹿児島県知事表彰

- 松林 大生 (川内自興園)
- 岩崎 里美 (鹿児島みなみ保育園)

全国社会福祉協議会会長表彰

- 松林 大生 (川内自興園)
- 岩崎 里美 (鹿児島みなみ保育園)

鹿児島県社会福祉協議会会長表彰

- 中峯 みどり (川内自興園)

鹿児島県手をつなぐ育成会理事長表彰

- 川崎 英登さん
- (川内自興園グループホーム利用者)
- (写真右下)

薩摩川内市ふれあい障害者福祉大会表彰

- 黒岩 栄二さん
- (川内自興園グループホーム利用者)
- (写真左下)

